

さいたま市長メッセージ（令和3年8月26日）

皆さん、こんにちは。さいたま市長の清水勇人です。

現在、本市では、依然として感染拡大が継続しており、災害とも言える状況です。8月24日までの1週間では、過去最大級となる2,169名の新規陽性者が確認されております。

このような中、最前線で治療等の対応を行っている医療関係者、及び、それを支える皆様の御尽力に、心より感謝を申し上げます。

本市は、感染収束の切り札と期待されているワクチン接種を、さらに加速させるために、さいたまスーパーアリーナ内に新たな接種会場を開設します。接種対象が若い世代に移行したことから、仕事の後にも接種が可能となるような時間帯を設定いたしました。

また、厚生労働省から、新たに、重症化しやすいとの見解が示された妊婦の皆様について、ワクチン接種の予約を8月31日から先行して受け付けします。

加えて、市営桜木駐車場の特設会場で優先接種を行います。優先枠のある接種日は、9月19日及び26日の2日間で、予約枠は合わせて約2,000人です。当日は、助産師の配置などの配慮も行います。

本市は、急増する自宅療養者に対応するため、保健所へ更なる増員を行い、健康観察等を維持するとともに、特設救急隊を新設し、最大5隊で、新型コロナウイルス陽性患者を専門で緊急搬送するなど、命を守る体制をしっかりと

と構築^{こうちく}してまいります。

これまでの感染^{かんせん}拡大^{かくだい}により、医療^{いりょう}のひっ迫^{ぼく}が深刻^{しんこく}化^かしております。

急^{きゅう}激^{げき}な感染^{かんせん}拡大^{かくだい}に歯^は止^どめをかけるために、改^{あらた}めて、私^{わたし}たち一人^{ひとり}ひとりが危^き機^き意識^{いしき}を持ち、これまで以上^{いじょう}に基本^{きほん}的^{てき}感染^{かんせん}症^{しょう}対^{たい}策^{さく}の徹^て底^{てい}に努^{つと}めてまいりましょう。